

株式会社 FU J I D A N は香川大学との共同研究で 災害時備蓄用段ボール製品を開発し発売を開始する。

災害時避難所の赤ちゃんをもつ家族の QOL 向上に焦点を当てた 3 商品。8 月 1 日新発売。



“おもしろいで未来を拓く”をスローガンにする段ボール製造業・株式会社 FU J I D A N（本社：香川県東かがわ市、代表：本田展稔）は、2025 年 8 月 1 日（金）より、段ボール製の災害時避難所向け新生児用段ボールベッド「dadda」、おむつ交換台「dapper」、多目的部屋「danroom」を全国の自治体や公共施設、商業施設向けに、当社 EC サイト等にて販売開始いたします。

このたび、香川大学創造工学部および医学部小児科との共同研究により誕生。災害時の避難所における災害配慮者である「赤ちゃん」を持つ保護者が安心して利用でき、避難所における“QOL(Quality of Life)”の向上に役立つ 3 商品を用意しました。

【URL】<https://danbase.jp/>

災害時の避難所で工具を使わずに誰でも短時間で組立ができる避難者に寄り添った商品

避難所生活の不便を段ボール製品で少しでも和らげたい、そして“安心”して使用していただきたいという想いのもと、段ボールのプロが安心と安全にこだわり、つくりました。組み立て前は、限られた備蓄スペースにコンパクトに収納でき、簡単に組み立てられるのが特徴です。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

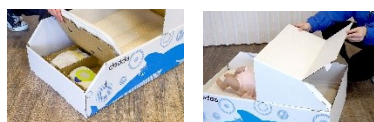
株式会社 FU J I D A N 広報担当：長谷川 満 TEL：0879-25-2381 MAIL：hasegawa@fujidan.jp

「dadda」は多機能。目隠し用のシェード、暑がりな赤ちゃんにうれしい通気穴機能、避難所での限られたスペースで役立つストックスペース付き。さらに、高松市のふとんメーカーが製造したオリジナルマット付き。

「dapper」は特殊強化段ボール製のおむつ交換台で天板は防水機能付き。一人でどこにでも持ち運べる手穴があり、収納時はコンパクトに折り畳むことができます。「danroom」は、避難所における共有スペースで使用する多目的部屋。収納時の梱包箱をすべてパーツとして使用でき、ゴミを発生させません。天井には明かり窓として半透明のプラスチック段ボールを使用。照明のない場所でも自然光を取り込みます。

上記3商品は一部材料を除き、商品のほとんどは段ボール製のため不要になった際は、資源ごみとしてリサイクルできます。避難所でゴミを出さない循環型避難所用製品といえます。

dadda



dapper



danroom



香川大学創造工学部および医学部小児科との共同研究で生まれた“メイドインかがわ”商品

■新生児用段ボールベッド「dadda」（商標・意匠出願中※）

避難所で赤ちゃんが眠っていることが分かるように動物が眠っているイラストをデザインしました。このデザインは香川大学創造工学部の学生からのデザインコンペを経て採用に至りました。

機能面では、創造工学部井藤隆志教授による人間工学の知見に基づいたデザインアドバイス、医学部小児科日下隆教授による小児科医療の知見に基づいた機能性に関するアドバイスから誕生しました。

専用のマットレスは高松市が本社のふとんメーカーとのオリジナル製品を採用。通気性が良く、ほどよいクッション性が特徴です。

- ・入数／販売価格：3個入／39,000円（＋税、送料別）
- ・対象月齢：0～約6か月（つかまり立ちできるお子さまは使用できません）
- ・色：ブルー（イルカ）、オレンジ（カバ）、グリーン（ワニ）
- ・保管箱サイズ／重さ（3個入）：825×495×275mm／約7.3kg
- ・本体外形サイズ／重さ：487×810×470（シェード含）mm／約2kg
- ・使用可能体重：10kg以下

※①意願 2025-003918 組立式ベッド ②意願 2025-003919 組立式ベッド



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 FUJIDAN 広報担当：長谷川 満 TEL：0879-25-2381 MAIL：hasegawa@fujidan.jp

■おむつ交換台「dapper」

材質はおむつ交換に必要な耐荷重を十分兼ね備えた特殊強化段ボール製。

同じく香川大学創造工学部および医学部小児科との共同研究で誕生。おむつ交換がしやすい高さや、おむつ・おしりふき・マザーズバッグなどを置ける棚を備えました。

- ・入数／販売価格：1 個／32,000 円（＋税、送料別）
- ・保管箱サイズ／重さ：635×780×165 mm／約 10kg
- ・本体外形サイズ／重さ：620×770×985 mm／約 9kg
- ・使用可能体重：15kg 以下
- ・対象月齢：0～約 24 か月



■多目的部屋「danroom」

避難所における用途を限定しない多目的部屋。想定用途は、授乳・おむつ交換、更衣室、電話ルーム、カウンセリングルームなど様々。

dapper は danroom の中に入れて使用できます。

- ・入数／販売価格：1 個／40,000 円（＋税、送料別）
- ・保管箱サイズ／重さ：1,412×1,898×90 mm／約 15kg
- ・本体外形サイズ／重さ：1,380×1,530×1,860 mm／約 13kg



災害の多い日本での災害配慮者に寄り添った商品開発が急務と感じ、開発に至る

当社は今までも、避難所用段ボール製間仕切りや、段ボールトイレ、段ボールベッドなどを地元自治体向けに販売実績があります。昨今の国内各地で頻発する大規模災害の報道を見るにつけ、もっと段ボール企業ができることがあるのではと思い、3 商品の開発に至りました。また、令和 7 年 2 月の災害対策基本法の一部改正により、地方公共団体は防災に必要な物資の備蓄状況を毎年 1 回公表する義務が課され、災害時の備蓄品へのニーズは今以上に高まることが想定されます。

避難所生活の経験のある方向に、避難所でどのような困難・不安があったか（女性）※1 という質問に対して「着替えのスペースがなかった」63%、「授乳などの子育てスペース」17%という結果から、赤ちゃんを持つ保護者などの災害配慮者の困りごとに絞った商品開発をするべきと判断しました。

また、災害時に使用する製品については、現場の意見を反映したものづくりがしたいと思い、災害用商品および災害現場の知見が豊富な井藤隆志教授に共同研究の申し出をした結果、快諾していただきました。

さらに、医学部小児科の日下隆教授の長年に渡る新生児医療の経験を商品開発に生かすべく、大学を通じて共同研究依頼。ベビーベッドの高さや、通気口の必要性、マットレスの硬さまで細かくアドバイスをいただき、その知見を商品に活かしました。

※1 NHK 災害列島日本命を守る情報サイト

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20230601_01.html

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 FU J I D A N 広報担当：長谷川 満 TEL：0879-25-2381 MAIL：hasegawa@fujidan.jp

これまでの商品事例と今後の展望

弊社は、15 年前より環境に優しい段ボールを使用した災害時避難所用備蓄製品を自治体向けに製造販売してきました。今後も災害時の避難者のQ O L向上に役立つも製品作りに注力して参ります。

これまでに開発した商品例

- ・ 段ボールベッド
導入事例：東かがわ市
- ・ 避難所用間仕切り
導入事例：東かがわ市他自治体



会社概要説明

【会社概要】

- ・ 社名：株式会社 FU J I D A N
- ・ 本社所在地：香川県東かがわ市白鳥 1820
- ・ 代表取締役社長：本田 展稔（ほんだ のぶとし）
- ・ 事業内容： 段ボールケース製造・販売、特殊三層段ボール製造・販売、印刷紙器、包装資材、包装機器企画・販売、パッケージコンサルタント
- ・ 設立：1957 年
- ・ HP：<https://www.fujidan.jp>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 FU J I D A N 広報担当：長谷川 満 TEL：0879-25-2381 MAIL：hasegawa@fujidan.jp